

地域活動支援センター
日中一時支援 店舗販売(お花屋)
NPO法人カモミール

かしら
柏うお〜か〜
あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。



東急柏ビレジ商店街にNPO法人カモミールが5/14にお花屋さんを開店しました。
代表理事の笠井さんと職員の石井さんにお話を聞きました。

Q：お花屋さんを開店した経緯を教えてください。

障害をもっている人とそうでない人の「接点」を作りたかったんです。障害をもっている人と地域の方が気軽に接することのできる拠点をもちたいと思っていました。私たちは立ち上げ当初から「園芸福祉」という活動に着目してガーデンの整備や花苗の育苗などを行い、多くの販売活動での実績を積み重ねてきたこともあり、プロ意識をもって行うことが出来るという面から、地域の「お花屋」を開店するに至りました。

また、これまでは障害者の施設で商品を作っても販売する場所がないという現状がありました。ここもお花だけでなく、地域の障害者関係の授産商品をPRし、販売するアンテナショップとしても考えています。もちろん、地域の方が作った商品を置く事も考えています。結果として、それが地域への障害理解の啓発、利用者の工賃アップ、仕事の確保、社会参加につながれば良いと思っています。

Q：どんな方が利用できるのですか？

障害に関しては障害程度は問わず利用が出来ます。利用までの流れとしては、まずはカモミールの地域活動支援センターに登録してもらい、コミュニティガーデン(農場)で草花に接する事から始めてもらいます(その他にも、公園清掃を通して地域の方にカモミールの事を知ってもらう活動があります)。その中で、地域社会に参加したい、社会復帰がしたいという気持ち強い方にお店の方で販売接客に携わっていただきたいと考えています。まずは、お気軽にお問い合わせください。

Q：最後に一言お願いします。

地域にあるお花屋ですが、普段見かける事の少ないハーブやラベンダーはもちろん、色々な方が楽しめる草花を取り揃えています。店内も少しずつ素敵な商品を増やしていく予定です。お花屋さんこんな商品を置いて欲しい！というご要望も大歓迎です。ぜひ一度遊びに来て下さい。

今回の取材を通して、代表理事の笠井さんと職員の石井さんの熱い思いが伝わってきました。店頭にはきれいな草花がいっぱいで、つつい長居したくなりました。少し珍しい草花もあり、お土産にも喜ばれそうです。一度覗いてみてはいかがでしょうか。

◆◆ご相談・お問合せ◆◆

NPO 法人カモミール

住所：〒277-0812 柏市花野井 1661

電話：04-7190-5879

メール：chamomile0874@yahoo.co.jp



「じんけん」ぽん
あいのネット
(2013.6 / NO.110)

〔発行〕 社会福祉法人 生活クラブ
柏市地域生活支援センター あいネット
〒277-0004 柏市柏下 65-1 ウェルネス柏内
TEL04-7165-8707 FAX04-7165-8709
HP: <http://ai-net.a.la9.jp/>
e-mail: ainet@kazenomura.jp

平成25年度
第1回あいネット運営委員会

5月15日に平成25年度 第1回あいネット運営委員会が開催されました。

今回は、各委員からの自己紹介、あいネットから平成24年度の報告、柏市民生委員児童委員協議会会長 中谷茂章氏のお話、各委員から意見交換等がなされました。以下お話の抜粋です。



中谷氏より、「民生委員の現状と課題」と称し、お話しがありました。内容としまして、高齢者数の増加に伴う課題、地域の各事業や会議への参加に伴う課題、地域コミュニティの希薄化による影響、児童や障害者の見守り、支援に関わる課題、民生委員の役割、地域に根付いた存在、地域のつなぎ役、等々。

- ・高齢化が進む中で、家族だけで当事者を支えていくのは限界がある。今後は地域で支えて行く必要があり、そこで核となり重要な役割を担うのが民生委員である。
- ・地域の実態が把握しきれないうちに役員が交代してしまうことが悩ましい点である。
- ・まず、関係機関へ繋ぐことが第一。自分で全て解決しないよう声をかけている。
- ・どこまで支援するのか、するべきか、というように線引きが難しいところである。(一部抜粋)

委員の方からは

「共に訪問した際、別のケース相談をされることがある。民生委員の相談できる場所が必要だと思う。民生委員自体のケアも必要である。」

「相談が入る時点で早期発見が大切だが、実際は既に問題が進んでいる場合が多い。」

民生委員から寄せられる情報はとても貴重で助かっている。

「民生委員との繋がりが不思議とこれまでほとんどなかった。今後、繋がっていけると良いと思う。」
「ケースによっては実質上の後見になる時がある。スキルアップの意味も含めて専門家との検討会を設けてみてはどうか。」

等々、活発な意見交換がなされました。

あいネットでも民生委員の方と連携して、支援を行うことがあります。地域に根差し、身近な存在である民生委員の方だからこそ住民の異変に気が付いたり、相談がしやすいのではないかと思います。民生委員の方の負担もあると思いますので、地域の機関がそれぞれの役割を果たし、チームとして支援を行っていく必要があると思いました。

柏市要保護児童対策地域協議会 代表者会議



上記会議の第1回が5月23日に開催されました。平成24年度報告として、

(1) 柏児童相談所より、平成34年度の虐待受付数等。

管内一連絡(通報)があったのは警察等が453件、23年度は122件で3.7倍となっている。柏市のみでは162件。DVを子どもがみていることも虐待にあたることから、件数が増えていることが背景にある。

また、学校での事例として、学校であざを発見した場合。①本人にどうしたかを聞く。自分でころんと言っても、話を聞き、写真や記録(いつ、誰が、どこでなど)を取る。②親に連絡し、あざがあったがどうしたかを聞く。殴ったなど認めた場合は理由を聞く。認めない場合も話を聞く。③虐待の場合には学校が親に連絡したうえで、児相に連絡する(通告の義務)との説明がありました。

近隣や知人などが虐待と疑われるケースを把握した場合は、第一次受付は市となっているという説明もありました。

(2) 柏市家庭児童相談等の状況

相談の総件数は733件、23年度は547件であり、増加している。児童の年齢としては3歳未満の相談、次いで未就学児が多くなっている。

虐待種別としては心理的虐待はすべてあてはまるものであること、ネグレクトが一番多い。支援事業では①養育支援訪問(保健指導)一助産婦が妊娠中から1歳くらいまでを定期訪問する。

②養育支援訪問(家事育児支援)――時期集中的に家事や育児支援を行う。

この支援を入れたい家庭は支援拒否をすることが多く、しかし入ると成果があるものとなっている。

などの報告がありました。

柏市でも虐待による児童死亡事例があり、改善策を着実に実行する、とありました。

最近の報道でも、虐待による児童の死亡事例や、母子が餓死するケースなどもあり、防げな

～編集後記～

月1発行のじんけんぼんですが、記事の締切が近付くと、にわかに事務所がざわつきます。「締切に間に合わせる」と必死に記事を書く人、「少く遅れても良いか」と甘える人、様々です。しかし、W杯出場のかかる試合の日は、みんな締め切りを忘れて帰途に就いたのでした。

おめでとう、日本代表!

白田



地域意見交換会に参加しました



5/31に地域意見交換会に参加しました。

この会は障害者就業・生活支援センター ビック・ハート(以下、ビック・ハート)が主催し、「地域の就労支援の強化」、「顔見える関係づくり」、「地域の社会福祉の情報交換の場」を目的として年に4回開催されるものです。この日は70を超える団体が参加しました。

最初に、ビックハートからH24年度の実績報告がありました。その後、議題として、東葛地域における自立支援協議会(就労分野)の取り組みの報告がありました。

我孫子市ではH24年度に「短期集中訓練」を立ち上げ、障害者就労支援センターが実施する部分的な訓練(週1回2時間×4ヶ月)を行います。通所施設(B型、地活等)との併用による、訓練期間を通じたアセスメント結果を所属先と共有し、日常の訓練(通所)にて取り組めるようにしたとの事でした。

また、松戸市ではプレジョブまつど(仮称)を検討しているとの事。これは、小学校5年～高校3年を対象に、地域の支援者(ジョブサポーター)と、地域の企業(サポート企業)において半年間、週1回、1回1時間程度就労体験を行う機会を提供するとの事でした。

自治体が独自に障害者の就労体験(もしくは職業訓練)の機会を持ち、企業への就労を目指す取り組みがなされていきました。今後は行政や福祉関係者だけでなく、障害者就労に対して企業とどのような協力していくのが課題であると感じました。

お知らせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707 FAX:04-7165-8709)

講演名	日時	場所	費用	申込	問合せ先他
ステップアップ講演会 第13弾 「光とともに・・・戸部さんと歩んだ作成秘話」 ゲスト: 本田雄三さん(元秋田書店)	平成25年 7月7日(日) 14:00～ 16:00	さわやか千葉県民プラザ3階	1000円	必要 先着150名	下記に氏名・所属・住所・連絡先をご記入の上、FAX/メールにて送付してください。 ※申込用紙はあいネットにもございます。 <主催> 柏市発達障害者支援協議会 TEL/FAX: 04-7105-7200 mail: js.sien@jcom.home.ne.jp
中核地域生活支援センター大会 in2013 地域社会の貧困化 ～生活困窮に対する支援の課題とこれから～ 基調講演: 村木厚子さん	平成25年 7月20日(土) 10:00～ 16:00	千葉市蘇我勤労市民プラザ	500円	390名 (先着)	申込み〆切7/10(水) 同封の申込用紙にてお申込みください。 <お問合せ> さんぶエリアネット TEL: 0475-53-5208 mail: sanbuera@wanahome.or.jp

※中核地域生活支援センター大会のご案内を同封いたしました。ぜひご利用ください。